



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第174号 (平成 29 年 6 月 5 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから> 「平成 28 年度森林・林業白書」の公表について
 - 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(115)
 - 3 <森林・林業白書から> 15 周年を迎えた「聞き書き甲子園」
 - 4 <樹木のことなど95> 幸福の木
 - 5 <イベント情報>
 - ◆平成29年度全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知への参加者募集
 - ◆神の泉 森林の楽校 2017 夏「花と自然と歴史の町で森林作業体験！」
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》

《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》

一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



1 <林野庁プレスリリースから> 「平成 28 年度森林・林業白書」の公表について

平成29年5月26日、「平成 28 年度森林及び林業の動向」及び「平成 29 年度森林及び林業施策」(「平成 28 年度森林・林業白書」)が、国会提出案件として閣議決定されました。

○「平成 28 年度森林・林業白書」の概要

森林・林業白書は、森林・林業基本法に基づき、政府が毎年作成して国会に提出するもので、森林・林業の動向と政府の施策について記述しています。

「平成 28 年度森林・林業白書」においては、特集として「成長産業化に向けた新たな技術の導入」を記述するとともに、新たな森林・林業基本計画で掲げられた諸課題やそれらへの取組等について、全国の様々な事例も紹介しつつ記述しています。

なお、「平成 28 年度森林・林業白書」は以下の URL で御覧になれます。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/index.html>

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(115)

北海道名寄市の郊外の小学校での活動が始まりました。全校生徒 19 名の森と川に囲まれた小学校です。今回の活動が知らされていた子どもたちは、新しい風が吹くよう

な活動に心踊らせていました。

活動前、校長室にいと、コンコン「こんにちは、モンシロチョウ捕まえたので見て下さい！」3年生男子3人が入ってきました。見ると、モンシロチョウの中にエゾシロチョウがいました。「すごいね、良く捕まえたね！でも、よく見てごらん。スジが入っているチョウがいるね。これはエゾシロチョウといって北海道ならではのチョウなんだよ！」「え～北海道だけなの！すごい～」郷土意識が強く、北海道限定に大騒ぎです！

「ウスバサイシンは神社森にあるのですか？」…えっ？訳を教頭に聞くと、今回の活動が始まることで浮き立った3年生男子達は校庭で昆虫採集し、なんとヒメギフチョウを捕まえたそうです。その後、自分たちで食草を調べウスバサイシンにたどり着いたようです。「良く調べたね！でも、北海道ではオクエゾサイシンを食べているんだよ。ヒメギフチョウもオクエゾサイシンも小学校の宝物だね、大事にしようね！」

こんなスーパーモチベーションの中、活動が始まりました。森の中でもこのテンションが持続し、森の中心のミズナラの大木の話をしようにも子どもたちは個別観察！「せんせ～い！これなあに～」で終了しました。おそらく日本全国このような活動ができる地元の宝物の自然、子どもたちがいると思いますが、ここにたどり着けたことに幸せを感じました！

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> 15周年を迎えた「聞き書き甲子園」

林野庁等の各省庁や関係団体、NPOの連携の下、平成14(2002)年から実施している「聞き書き甲子園」が、平成28(2016)年度で15回目の開催を迎えた。

「聞き書き」とは、話し手の言葉を一字一句全て書き起こした後、一つの文章にまとめる手法である。農山漁村における過疎化が進み、暮らしに必要なものを森や海、川から得て暮らしていくための知恵や技術が失われつつある中、全国の100人の高校生が、森や海、川とともに生きる知恵や技を持つ「名手・名人」を訪ね、一対一で「聞き書き」する活動を、毎年「聞き書き甲子園」として実施してきた。

参加した高校生の多くは、参加後も、「聞き書き甲子園」の運営に参画したり、森づくりや地域づくりの活動等に取り組んだりしている。また、石川県や大分県では、市町村独自の名人の選定と、地元高校生による「聞き書き」がスタートしているほか、インドネシアの高校でも継続的に「聞き書き」が実施されるなど、「聞き書き」の取組自体が地域や国を越え広がりがつつある。

平成28(2016)年度は、これまで14年間続けてきた取組の意義を再確認し、より多くの人に取組を知ってもらうため、卒業生による名人の再訪や、社会人向けの聞き書き体験等の企画を実施した。また、平成29(2017)年3月には、東京都内において、「第15回聞き書き甲子園」の成果発表の場であるフォーラムの開催とあわせて、15周年を記念する講演会等が開催された。

今後も、この活動を通じた世代間、地域間の交流や、形成されるネットワークが、農山漁村の知恵や技術の存続のほか、地域づくりの一助となることが期待される。

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹木のことなど95> 幸福の木

木の種類には、いろいろのものがあありますが、名前もいろいろあって、大変いい名前のつけられた幸運の木もあります。「幸福の木」はまさにそうした木です。幸福の木は、南アフリカ原産のリウケツジュ科ドラセナ属の木で、緑色の葉を持つドラセナフラグランス(*Dracaena fragrans*)の枝変わりという葉の中側に黄色い中斑のある品種のマッサンゲアナを指しています。

本来の「幸福の木」は中南米原産のコルジュリネという植物のことといわれます。コルジュリネ属は、ドラセナ属と近縁のため同一視されることが多く、コルジュリネの一種の小木が、ハワイで、グッドラックプランツと呼ばれたことに由来し、幸福の木と言われるものが出てきたといわれます。

なお、「幸福の木」と同様にネーミングされたものに「青年の木」があります。青年の木は、中南米原産のユッカ、リュウゼツラン科ユッカ(イトラン *Yucca*)属の木でユッカエレファンティペス(*Yucca ephantipes* R.)という木です。公園でみられる庭木のアツバキミガヨランもこの仲間ですから、かなり親しみのあるものです。「青年の木」は、葉が勢いよく上に伸びる姿を若々しい青年とイメージされ、この名が日本でつけられたものです。中南米、メキシコ、コスタリカ、北アメリカなどが原産地といわれます。

「幸福の木」や「青年の木」などと親しみやすい名前の熱帯植物や温室植物などの観葉植物を観察して、日頃あまり目にしないこうした、植物に接し親しむことになれば、大変いいことと思います。

(子ども樹木博士ニュース「質問コーナー(堀内孝雄先生)」から)

5 <イベント情報>

- ◆平成29年度全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知への参加者募集
- ◆神の泉 森林の楽校 2017 夏「花と自然と歴史の町で森林作業体験！」

◆平成29年度全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知への参加者募集

子ども樹木博士認定活動推進協議会では、愛知県名古屋市において、全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知を開催しますので、参加者を募集します。

自ら「子ども樹木博士」を実施してみたい方、子ども会や学校等で森林環境教育の一環として「子ども樹木博士」を取り入れてみたい方などに「子ども樹木博士」を体験していただきます。森林環境教育に関心をお持ちの方ならどなたでも参加できます。

森林インストラクターの方や「子ども樹木博士」認定活動を既に実践されている方も参加できます。皆様の参加をお待ちしています。

開催日:平成29年6月18日(日) 10:30~16:15

会場:名城公園(愛知県名古屋市北区名城)

ウィルあいち(愛知県名古屋市東区上堅杉町)

集合:名城公園フラワープラザ前広場 10:30

主催:子ども樹木博士認定活動協議会

協力:森林インストラクター会“愛”

詳細は、下記の URL のホームページをご覧ください。

申込用紙もホームページからダウンロードできます。

申込締切は6月13日です。

URL: http://www.shinrinreku.jp/information/9_index_detail.html

◆神の泉 森林の楽校 2017 夏「花と自然と歴史の町で森林作業体験！」

都心に近い山村、埼玉県神川町で、森を育む日帰り体験。

作業の後は、地元の方との交流会あり、お風呂あり。

森林の楽校の名前の由来と縁がある湧き水、神泉水などから作られた自然食品の製造・販売店(ヤマキ醸造)にも立ち寄ります。

初心者の方もリピーターの方も大歓迎です！

季節の移ろいを感じに出掛けませんか。

【と き】 2017 年 7 月 8 日(土)

【ところ】 埼玉県児玉郡神川町(旧神泉村)

【内 容】

◇森林作業体験(草刈り等)

◇交流会(BBQ)

※森林作業体験の指導や交流会に、地元の方にも来ていただきます。

◇ヒノキ香る宿「冬桜の宿 神泉」での入浴(希望者)

※露天風呂もあります。

【定 員】 30 名

【締 切】 6 月 30 日(金)

※締切日過ぎてのお申込みはご相談下さい。

【主 催】 神川町、JUON NETWORK

【必要経費】

◇参加費(資料代、保険料、体験料、交流会費等)

学生・会員: 2,000円／一般: 3,000円

※当日のご入会でも会員割引が適用されます。

◇入浴希望の場合: 540円

※森林の楽校参加者は当日、上記入浴料から110円引きして貰えます。

◇新宿発バスの利用

無料(主催者側で負担するため)

※それ以外の手段で来られる方は、現地までの交通費は各自ご負担下さい。

【日 程】

※多少の雨でも実施しますが、内容が変わることがあります。

◆7/8(土)

7:00 新宿駅西口に集合

(現地に直接来られる場合:神川町神泉総合支所 9:30集合)

- 10:00 開校式
 - 10:30 森林作業体験(100年の森にて、草刈り等)
 - 12:00 昼食(各自持参した物で)、休憩
 - 12:45 森林作業体験(100年の森にて、草刈り等)
 - 14:00 作業終了、道具片付け
 - 14:30 交流会(BBQ)、閉校式
 - 16:00 「冬桜の宿」で入浴 ※希望者のみ
 - 17:00 お土産屋立ち寄り
 - 20:00 新宿駅西口にて解散
- (現地解散の場合: 神川町神泉総合支所にて17:45頃解散)

【新宿発のバスを利用せず、公共交通で来る方へ】

神泉総合支所へは、路線バスでのアクセスも可能です。
JR 高崎線「本庄」駅より、朝日バスにて約 50 分(660 円)
《往路》神泉総合支所行き 8:02 発
《復路》本庄駅行き 17:59 発

※あくまで参考例です。当日までに変更になる可能性もあります。
今一度各自でご確認の上、ご計画ください。

【問合せ・申込み先】

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)
〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協杉並会館内
Tel: 03-5307-1102 / Fax: 03-5307-1091
E-mail: juon-office@univcoop.or.jp
[http:// juon.univcoop.or.jp/](http://juon.univcoop.or.jp/)

◎詳細・お申し込みはこちらから

<http://blog.canpan.info/juon/archive/394>

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

〈森林・林業白書から〉のコーナーが今回から、5月26日に公表された平成28年度
森林・林業白書に変わりました。これから1年間、白書に取り上げられた事例を中心に
ご紹介していきます。

前号でもお知らせしましたが、システムの関係上、しばらく中断していました会員登録
を再開いたしました。お知り合いの方々に周知していただければ幸甚です。

会員登録は、森林レクリエーション協会のホームページから森林環境教育ネットワー
クのページを開き、会員コーナーからお願いします。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局

TEL: 03-5840-7471 FAX: 03-5840-7472 E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)

URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

